2024 年 11 月 6 日

会 社 名　株 式 会 社 ペ ル セ ウ ス プ ロ テ オ ミ ク ス
代表者名　代表取締役社長 執行役員 横川 拓哉
（コード番号：4882 東証グロース）
問 合 せ先　取締役執行役員 管理部長 鈴川 信一
（TEL. 03-6264-8224）

第 66 回米国血液学会(ASH)年次総会における PPMX-T003 第 I 相試験報告の発表採択のお知らせ

2024 年 12 月 7～10 日、カリフォルニア州サンディエゴ及びオンラインで開催される第 66 回全米血液学会（ASH）年次総会において、当社が実施した抗トランスフェリン受容体 1（TfR1）抗体 PPMX-T003 の真性多血症（PV）患者さんでの第 I 相試験の報告が発表演題に採択され、抄録が公開されましたのでお知らせいたします。

演題： 抗トランスフェリン受容体 1 抗体（PPMX-T003）の PV 患者における第 I 相試験
発表日時: 2024 年 12 月 9 日 午後 6:00 ～ 8:00（米国太平洋標準時）
抄録番号: 4542
場所: サンディエゴ・コンベンションセンター ホール G-H

■ PPMX-T003 について：

PPMX-T003 は、細胞における鉄の取り込みに関与する TfR 1 を標的としています。TfR1 は、通常の細胞よりも多くの鉄を必要とする細胞に極めて多数発現しており、赤血球の元である赤芽球細胞に多く見られます。PPMX-T003 が TfR1 に結合すると、赤芽球細胞内への鉄の取り込みを阻害することで、赤芽球細胞の増殖を抑制します。このため、赤血球が異常に増える疾患である PV において、赤血球数を正常化する効果が期待されます。 また、TfR1 は増殖が盛んながん細胞にも多く発現しています。PPMX-T003 が TfR1 に結合すると、がん細胞内への鉄の取り込みを阻害することで、がん細胞の増殖を抑制する効果が見込めます。 なお、PPMX-T003 のアグレッシブ NK 細胞白血病（ANKL）患者さんを対象とした医師主導第 I/II 相試験も現在実施しております。

■ ペルセウスプロテオミクスについて：

ペルセウスプロテオミクスは、2001 年 2 月に設立され、主にがん領域で画期的な抗体医薬品の創薬を目指すバイオベンチャーです。PPMX-T003 は、多様性に富む抗体ライブラリと、効率的に目的の抗体をスクリーニングする ICOS 法（特許第 4870348 号）によって取得した、ファーストインクラスの TfR1 ブロッキング抗体です。現在、PPMX-T003 に加えて、放射性同位体標識抗体 PPMX-T002、抗体薬物複合体（ADC）PPMX-T004 の開発も進めております。

https://www.ppmx.com/

以上